

令和4年度第1回生駒市介護保険運営協議会 会議録

- 1 日 時：令和4年6月22日（水）14：00～15：30
- 2 場 所：生駒市役所4階大会議室
- 3 出席者
委 員：澤井 勝 高取 克彦 萩原 洋司 辻村 泰範 井上 太
中尾 初美 藤田 照子 日野 紀代子 藤尾 庸子 上村 健二
竹田 幸代 和田 ちあき
事 務 局：近藤福祉健康部長 石田福祉健康部次長
地域包括ケア推進課：後藤 治彦 澤辺 誠
介護保険課：吉本 直樹 殿水 成樹 窪田 陽介 門脇 佳子
- 4 傍 聴 者：1名

- 1 開会
会議成立の報告（委員14名中12名出席）
- 2 案件（1）～（5）

案件（1） 会議の公開・非公開について
異議なしで公開することに決定（一部非公開）

案件（2） 介護保険事業計画の進捗状況について
事務局：資料1、資料1追加分を説明

委 員：いきいき100歳体操で各地域を回っていただくという計画はコロナで中止になっていたが、今年度は実施できるのか。ぜひ進めていただきたい。筋力チェックなどが高齢者のやりがいにつながる。

事務局：地域リハビリテーション活動支援事業は当初2年で全体を回る計画が、半分回ったところでコロナにより中止になった。2年以上動けていない。今年度に入り改めて1から仕切りなおして、今月中に打ち合わせを進める予定です。

委 員： 日程表などあればほしい。

委 員： 前回の会議でも質問したが、小規模多機能と看護小規模の計画比が悪い。それについての原因はどのように考えているのか。前回色々な原因があるとの回答だったが、具体的な原因はわかったのか。

事務局：2月の協議会では居宅のケアマネから小規模多機能のケアマネに変わらないといけ
ず居宅のケアマネ自身が利用者に紹介しづらい事から、例えば病院から退院する時
に新規で小多機・看多機利用につなげて行く等、病院へのアプローチが必要と考えて
いるとお伝えした。それ以外の課題の追究までは現状できていない。

案件（3）地域密着型サービス事業所の指定更新の今後の取り扱いについて

事務局：資料2を説明

案件（4）地域包括支援センター関係について

①介護保険運営協議会への諮問

②介護予防支援及び第一号介護予防支援事業の再委託事業所について

事務局：資料3・4を説明

委員：再委託事業所の中に東京の事業所もあるが、遠すぎるのでは。

事務局：要支援の方が住民票を生駒市に置いたままお体だけ遠方に移動されている場合に
再委託となる。

委員：何らかのご事情で住民票を動かせることができない人もいる。

委員：再委託の際、保険料の支払先は。

事務局：住民票がある生駒市です。

③地域包括支援センターの令和3年度実績報告及び令和4年度事業計画について

事務局：資料5・6を説明【一部非公開】

委員：事業計画書に職員の人事異動について記載があるが、市民の方から包括に相談に行
っても答えが出ないとの意見をよく聞くため改善してほしい。虐待相談件数が非
常に多いがこれだけの虐待の相談を受けてどのように対応しているのか。

事務局：虐待件数については、基幹型の効果で虐待に関する意識が変わっていることも要因
にある。虐待相談に対する対応としては、分離して終わりではない。擁護者に対す
る支援もある。長期間引っ張るケースもあるが、虐待を受けている側と虐待をして

いる側双方への支援が必要である。包括の人事異動については、実際にはあまり人事異動はないが、ここ一年は専門職のステップアップのために異動されるなど、異動が多かったように思う。質を落とさないよう基幹型で底上げをしていく。

委員：ヤングケアラーについて、言葉だけが独り歩きしている現状もあるが、ヤングケアラーは奥が深く、虐待と関連するケースもある。複数の課で連携し密な支援を望む。余談だが、生活支援課では深刻な話をする人が多く、玄関の人通りが多く人目にさらされている場所に窓口があるのはいかがなものかと思う。相談に来る人の気持ちを考えて、配慮した窓口の位置づけをお願いしたい。

事務局：ヤングケアラーにつきましては、後ほど子育て支援総合センターのほうから案内があります。

事務局：窓口に関しては、私達としても場所の適性について常に考えている。相談室が近く、内容によっては相談室を活用するなど対応している。手狭な庁舎ですが、庁内会議を通じても常にどういう配置がいいのかをしっかりと検討していく。

④地域包括支援センターの令和3年度事業評価について

事務局：資料7を説明

委員：昨年度老人クラブと包括支援センターで交流会をした。この評価は自己評価であり、外部からの評価ではない。先ほど別の委員からも意見があったが、包括のエリアは選べないため、相談したものの満足して帰れなかったという声は事実届く。市民の人もどこの包括が担当かを把握していない人もいる。今年度も校区単位での交流会を実施したいと思う。

委員：住民が他人事過ぎる面もある。行政はいたるところで包括の周知をしている。介護は関係ないと思わず自分事として情報を捉えるべきである。介護予防になるともつと他人事になる傾向がある。

事務局：一人でも多くの市民に介護予防や包括について周知するよう取り組んでいる。今後も包括としっかり連携して取り組んでいく。

案件（5）その他

・ケアリンピック生駒について

- ・ヤングケアラー支援について（子育て支援総合センター）
- ・運協委員の任期について

閉会

以上